

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-3

<9週> インフルエンザ - 例年のこの時期と比べると定点当たり報告数がやや多くなっている / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.4

<インフルエンザ> 2002年第9週の全国定点からの報告総数は77,177( 定点当たり報告数は16.5 )



病原体情報  
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザ / 感染性胃腸炎



速報  
P.6-7

本邦で始めて確認されたコリネバクテリウム・ウルセランスによるジフテリアの症例



海外感染症情報  
P.8

コンゴ民主共和国でコレラ流行 / ブルキナファソで髄膜炎菌感染症の流行 / ハワイでデング熱の流行 - 米国 / 他



感染症の話  
P.9-11

Q熱  
重要な人獣共通感染症の一つで感染源はおもに家畜や愛玩動物であるが、自然界では多くの動物やダニが保菌しており、感染源となりうる



読者のコーナー  
P.12

ポリオの予防接種



グラフ総覧(9週)  
P.13-19



9週のデータ  
P.20-27



# 発生動向総覧

第9週コメント 3月7日集計分

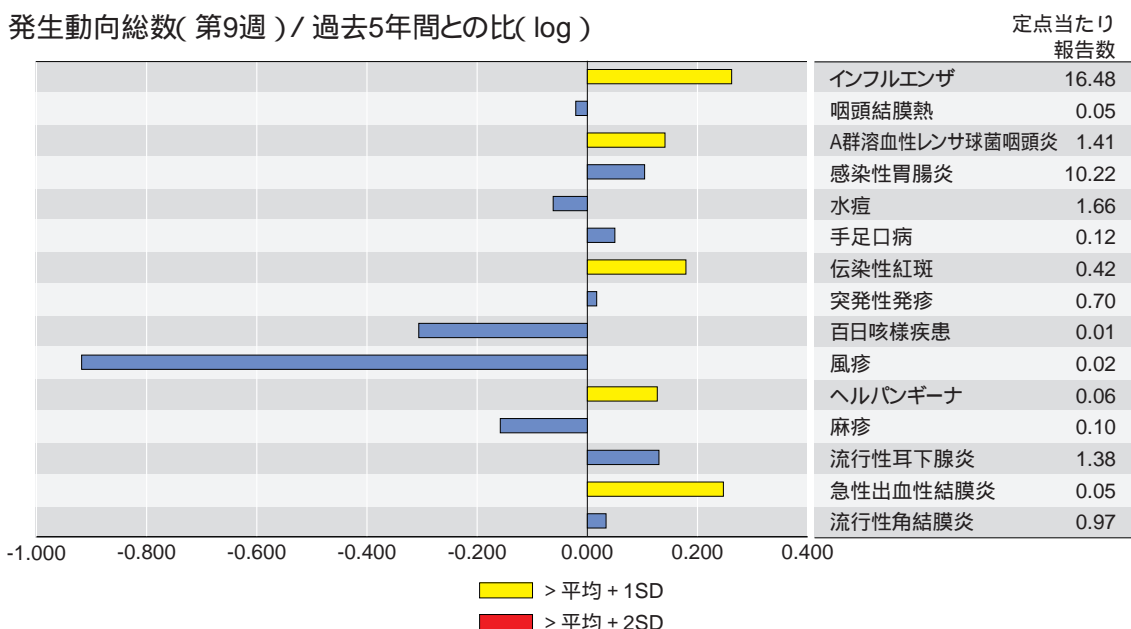
## 全数報告の感染症

- 1類感染症：報告なし
- 2類感染症：細菌性赤痢24例(推定感染地：国内19例、タイ3例、インドネシア1例、不明1例。国内感染例のうち、18例は熊本県内の小学校における集団発生事例。)腸チフス1例(推定感染地：国内)
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症5例(うち有症者1例)
- 4類感染症：アメーバ赤痢8例、オウム病2例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例(ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー症候群)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、ジアルジア症1例(推定感染地：タイ)、デング熱1例(推定感染地：ブラジル)、レジオネラ症1例、急性ウイルス性肝炎5例 (A型4例、B型1例(感染経路：不明))、後天性免疫不全症候群9例(AIDS 1例、無症候性キャリア8例) (感染経路：性的接触9例(異性間1例、同性間8例))、梅毒2例(早期顕症1例、無症候1例)、マラリア1例(三日熱マラリア\_\_推定感染地：ナイジェリア)

## 定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

インフルエンザは東北地方、日本海側の新潟県、石川県から岐阜県、三重県など、中国・四国地方の広島県、愛媛県などで定点当たり報告数が多くなっている。今シーズンは遅めの流行となっているために、例年のこの時期と比べると定点当たり報告数がやや多くなっている(インフルエンザに関する詳しい情報は、4ページ「注目すべき感染症」参照)。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比較してやや多くなっており、山形県で定点当たり報告数5.5、北海道で3.8と多くなっている。感染性胃腸炎は福岡県(定点当たり報告数21.6)、大分県(21.1)などで報告が多くなっている(感染性胃腸炎の病原体については5ページ参照)。伝染性紅斑も例年の同時期より定点当たり報告数がやや多くなっている。流行性耳下腺炎は、沖縄県(定点当たり6.1)、山形県(5.7)などで報告が多くなっている。

発生動向総数(第9週)/過去5年間との比(log)

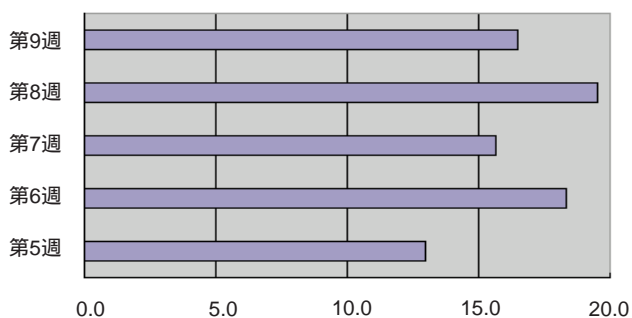


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

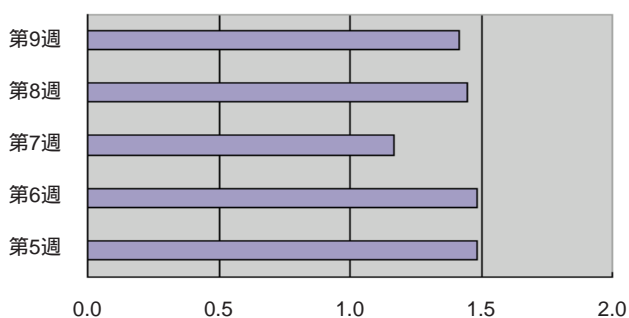
## 最近の注目疾患－5週間の動き

インフルエンザ、水痘、流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は前週より減少した。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎は、定点当たり報告数が前週よりわずかに減少した。

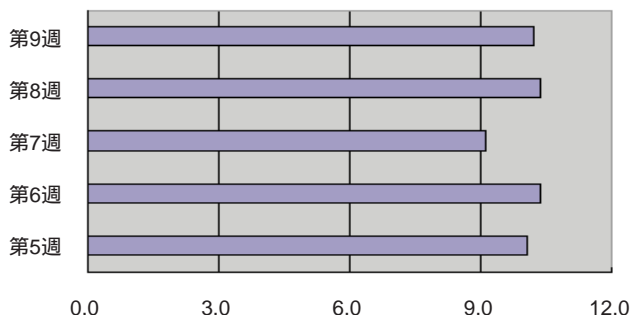
インフルエンザ



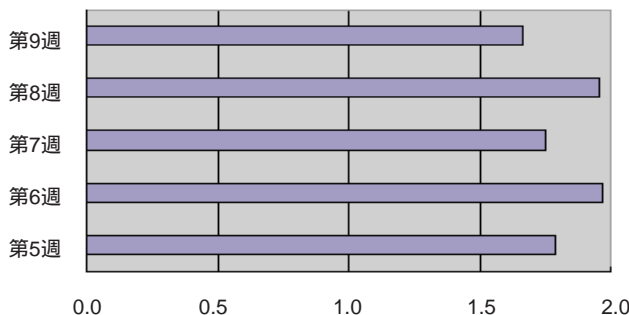
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



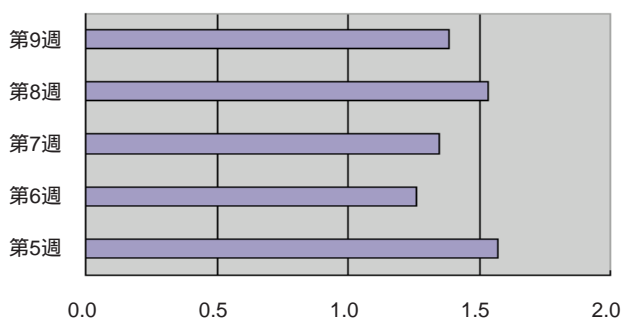
感染性胃腸炎



水痘



流行性耳下腺炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数( 報告総数/定点総数 )を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



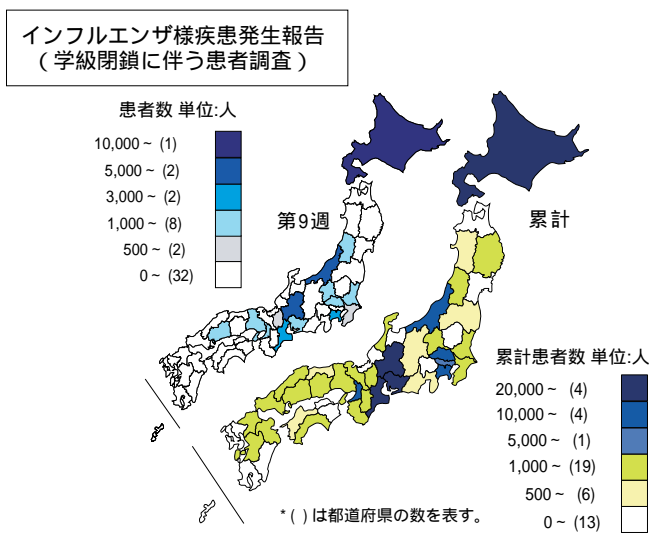
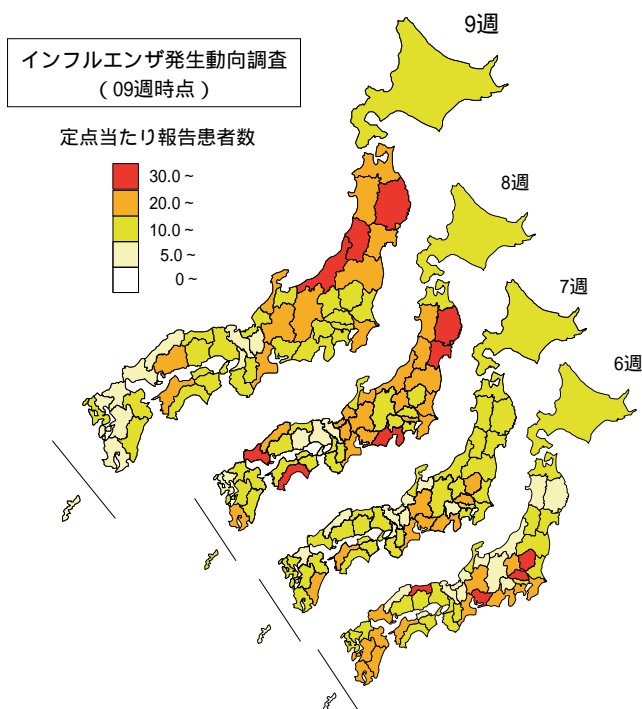
# 注目すべき感染症

## インフルエンザ

2002年第9週の全国定点からのインフルエンザ報告総数は77,177で、定点当たり報告数は16.5であった。本年第1週からの累積患者報告数は45万739人である。今週、定点当たり報告数が多くなっているのは、東北地方の岩手県(31.8)、山形県(31.0)、青森県(28.6)、宮城県(26.4)、秋田県(24.9)、福島県(25.2)、その他では新潟県(41.2)、長野県(24.7)、石川県(22.9)、広島県(29.1)、愛媛県(24.4)、岐阜県(28.3)、三重県(25.0)、千葉県(24.2)などである。今週報告された患者を年齢階級別にみると、2～5歳に多く、5歳以下の子どもが全体の約4割、20歳以上の成人の報告は全体の約2割を占めている。

厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによれば、国内すべての都道府県内に警報または注意報の発生している保健所がある。大きな流行の存在を示唆する「警報」は、愛知県内の18保健所、埼玉県内の13保健所など計149保健所で発生しており、今後4週間以内に流行現象が生ずる可能性が高い「注意報」は北海道、神奈川県内の15保健所、東京都内の14保健所、千葉県内の10保健所など全国計224保健所に発生している(「インフルエンザ警報・注意報マップ」は感染症情報センターホームページ・トピックス「インフルエンザ」参照。インフルエンザウイルスの分離・検出については5ページ病原体検出情報参照)。

厚生労働省が都道府県の学校担当部局などの協力を得て行っている学校における「インフルエンザ様疾患発生報告」によると、平成13年10月28日から平成14年3月2日までの累計欠席者数は104,379人(累計患者数は211,866人)で、流行が小さかった昨年同期の約4倍となっている。





## 病原体情報

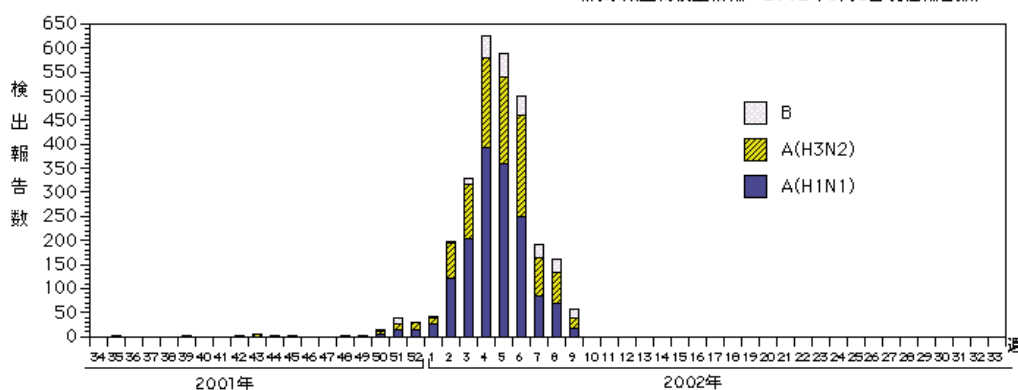
\*グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。  
( 2002年3月8日現在報告分 )

### インフルエンザ 2001/02シーズン

今シーズンの分離・検出報告は、A/ソ連( H1 )型が1,562件( 新潟県123、広島県95、山口県82 など )、A/香港型( H3 )が982件( 札幌市112、愛媛県87、福島県69など )、B型は235件( 愛知県59、名古屋市33、札幌市28など )である。最近では、A/ソ連( H1 )型が第8週に70( 16府県市 )、第9週に17( 3県市 )、A/香港型( H3 )が第8週に64( 14都県市 )、第9週に22( 6県市 )、B型が第8週に28( 7県市 )、第9週に17( 4県市 )が報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2001/2002シーズン

(病原微生物検出情報：2002年3月8日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。  
( \*他に40週AH3, 49週Bが国立仙台病院で分離されている )

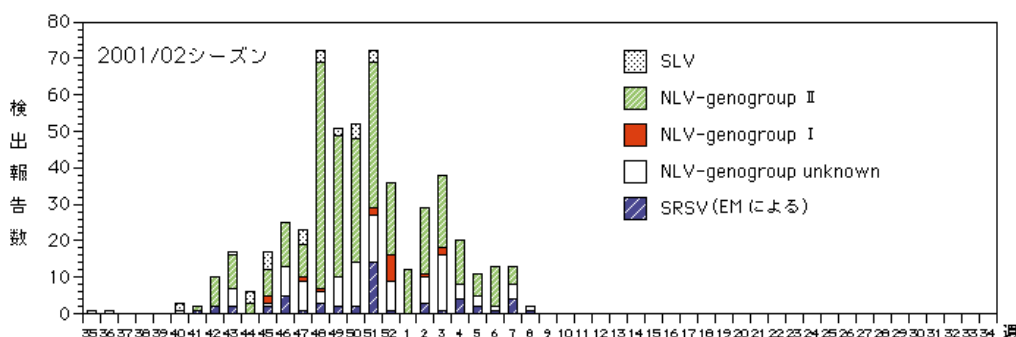


Infectious Agents Surveillance Report

### 感染性胃腸炎 2001/02シーズン

今シーズンのSRSVの検出は、ノーウォーク様ウイルス( NLV )genogroup IIが328件( 広島市54、岩手県38、滋賀県33、大阪市29、岡山県27など )、NLV genogroup Iが16件( 滋賀県8、石川県2、広島市2など )、NLV genogroup unknownが104件( 新潟県38、山形県17、東京都13など )、サッポロ様ウイルス( SLV )が27件( 愛媛県13、岩手県10、広島県4 )で、その他に、電顕による検出が51件( 愛媛県19、岡山県18、北九州市8など )報告された。また、A群ロタウイルス100件( 香川県22、新潟県19、奈良県17など )、群不明ロタウイルス8件( 愛媛県5、北九州市2、熊本県1 )の検出が報告されている。

検出されたSRSVの内訳、2001/02シーズン (病原微生物検出情報：2002年3月8日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report





## 本邦で始めて確認されたコリネバクテリウム・ウルセランスによるジフテリアの症例

*Corynebacterium ulcerans*( コリネバクテリウム・ウルセランス )は、ジフテリア様の臨床像をきたす人獣共通感染症の起病菌であり、一般に牛や羊との接触、または生の乳製品などを摂取することにより感染することが知られている。これまで本邦では、本菌によるヒトへのジフテリア症の感染報告は見られていない。ジフテリアは*Corynebacterium diphtheriae* が主に上部気道に感染する呼吸器疾患として知られているが、今回我々はジフテリア様症状を呈した患者から*C. ulcerans* を分離し、ジフテリア毒素の産生能を確認したので概要を報告する。

症例：52歳女性

主訴：呼吸困難

既往歴：特記事項なし

家族歴：特記事項なし

生活歴：約20匹の猫を飼育している

現病歴：2001(平成13)年2月12日より嘔声が出現した。2月14日頃から咽頭痛、咳嗽が出現した。2月15日より発熱あり。2月16日より呼吸困難と喘鳴が出現し、近医受診した。喘息を疑いネブライザーを施行するも改善みられず、喉頭クループの疑いにて当院の救急外来へ紹介受診となった。

初診時所見：口腔からの視診では、軽度の粘膜発赤を認めるのみであった。ファイバー下には、上咽頭と喉頭前庭に付着した白い偽膜と、声門下の狭窄が確認された。頸部リンパ節には明らかな腫脹を認めなかった。また、胸部レントゲンでは肺野に強い陰影を認めた。

経過：明らかな吸気性喘鳴と呼吸困難を認めたため、救急外来にて挿管を試みたが、挿管直後かえって呼吸困難をきたした。そのため一度抜管したところ、白くて堅い、ゴムのような手触りの膜様物が挿管チューブの内腔を閉塞していたため、これを菌培養の検体として提出し、さらに再挿管を行った。この際、明らかな出血は見られなかった。その後は呼吸困難は認めず、当院ICU病棟に入院となった。来院時採血にて、WBC 16,800( neutro 85.8% ), CRP 20.0であった。肺炎、咽喉頭炎の診断のもと、2月16日～21日まで抗菌薬はABPC/SBT 6g/日を経静脈投与した。2月20日に喉頭ファイバー下に観察を行い、咽頭の白い偽膜の存在から、この時点でジフテリア感染を疑った。そのため、ジフテリアに対する感受性を考慮し、2月21日から抗菌薬はEM 1g/日を経静脈投与とした。すると、2月20日には14.4mg/dlを記録していたCRPが、2月23日には2.0mg/dlと著明に改善を示した。また、胸部レントゲン上の陰影も消失の傾向を示した。同日に*C. ulcerans* の培養結果が得られた。

2月26日一度抜管を試みたところ、やはり吸気性喘鳴と呼吸困難が生じたため、再挿管を行い、全身麻酔下に気管切開術を試行した。その後は呼吸困難もなく、全身状態も良好であったため、2月27日に耳鼻科の一般病棟へ転科となった。3月12日カニューレを抜去し、気管孔閉鎖とした。経過良好につき3月17日退院した。3月22日外来再診時にも異常所見は認められなかった。ジフテリア抗毒素血清については、入院中取り寄せが困難であったことと、心電図にて異常を示さなかったこと、などから使用しなかった。その後、再発は見られていない。

細菌学的検査：分離された*C. ulcerans* の毒素原性をPCR法、Elek試験法、培養細胞法、およびウサギ皮内試験法で試験した結果、PCR法でジフテリア毒素遺伝子が、他のすべての方法でジ

フテリア毒素の産生能が確認された。

考察: *C. ulcerans* は1928年にGilbertとStewartによって発見され、ヒトにジフテリア様の症状をきたす感染症の原因菌として海外では比較的良好に知られている。本菌による症例報告としては、人獣共通感染症として、牛や羊との接触や、その非加熱処理の乳製品から感染した症例や、感染経路が不明とされる症例などが報告されている。今回の症例において、患者とその夫から感染経路に関する質問を行ったところ、近所に酪農家はないとの回答を得ており、また生の乳製品などを摂食した既往も認めなかった。

本邦ではこれまで*C. ulcerans* によるジフテリア様の感染症例は報告されていなかったが、今回、千葉県下で症例が確認された。感染原因については、明らかとなっていないため、今後疫学調査を含めた解析が求められる。また、ジフテリアに類似した感染例の中に*C. ulcerans* による感染事例も予想されるために、医療の現場や検査室では本事例を念頭に速やかな検査と治療を行うことが必要と考える。

総合病院国保旭中央病院

耳鼻咽喉科 畑中章生 岡本 誠

内科 中村 朗

中央検査課 大江健二

国立感染症研究所細菌・血液製剤部

小宮貴子 岩城正昭 荒川宜親 高橋元秀

(IASR2002年3月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### コンゴ民主共和国でコレラ流行

WHO/CSR 2002年3月5日

3月5日現在コンゴ民主共和国の保健省は、コレラの流行が2001年11月にKatanga州で始まってから、407名の死亡を含む5,021名のコレラ患者を報告した。Lubumbashi市を含むKatanga州の8保健区が流行の影響を受けており、同州北部のAnkoro、Kabolo、KongoloやKalemieが含まれている。

保健省およびベルギー、フランス、スペインの国境無き医師団( MSF )とWHOの医療従事者が流行地区に到着した。政府省庁間の委員会が設置され、患者治療、予防対策、住民の教育と訓練、サーベイランス、および対策活動などの流行征圧対策が行われた。

### ブルキナファソで髄膜炎菌感染症の流行

WHO/CSR 2002年3月7日

ブルキナファソで2月4日から2月10日までに、36名の死亡を含む201名の髄膜炎菌感染症患者が発生したことがWHOに報告された。現在の人口が86,000人であるDiebouyou地区では、同時期の患者数が3名の死亡を含む9名となり、流行の規模に達した。

集団予防接種キャンペーンがその地区で開始され、治療活動が強化されている。ブルキナファソ保健省は流行に対処するために、946,500回接種分のワクチンと24,889回投与分のクロラムフェニコールの備蓄をしている。

更新WHO/CSR 2002年3月8日

3月3日現在WHOは、髄膜炎菌感染症の流行が2001年12月に始まってから、329名の死亡を含む1,874名の患者を報告した。Diebouyou地区に加えてPama、PissyおよびYakoでも流行の規模に達した。集団予防接種キャンペーンがDiebouyou、PissyおよびYakoで進行中である。

### ハワイでデング熱の流行 - 米国

CDC/travelers health, Outbreaks 2002年3月4日

2002年3月1日ハワイ州の保健当局は、検査で確定されたデング熱患者2名を報告し、6月10日からのデング熱患者数の総数は111名に達した。2名の患者は2001年6月に発症し、他の大部分の患者と同じハナ、マウイ地区の住人であった。患者は概して軽症で、デング出血熱ではなかった。これまでのデータによれば、ハワイに渡航したヒトがデング熱に感染するリスクは、現在のところ極めて低いと思われる。

### ガボンのエボラ出血熱流行 - 更新

WHO/CSR 2002年3月6日

2002年3月4日にガボン保健省は、49名の死亡を含む60名のエボラ出血熱の診断確定患者を報告した。接触者の追跡、および監視が引き続き行われている。

### エチオピアの髄膜炎菌感染症 - 更新

WHO/CSR 2002年3月8日

3月3日現在エチオピア保健省は、2001年9月に髄膜炎菌感染症の流行が始まってから、118名の死亡を含む2,329名の患者を報告した。流行の被害が最も深刻なのは、Southern Nations, Nationalities and Peoples Region( SNNPR )で、89名の死亡を含む2,022名の患者が発生した。

保健省により設立された流行性髄膜炎の対策グループは、サーベイランス、患者の治療、予防接種キャンペーン、および後方支援などの征圧対策活動を調整して行っている。流行性髄膜炎の対策グループに代わって保健省は、SNNPRの5つの地区を優先して集団予防接種キャンペーンを実行するために、250万ドルの緊急支援の要請を行った。





## 感染症の話

### Q熱

Q熱は重要な人獣共通感染症の一つで、1935年オーストラリアの屠畜場の従業員の間で流行した原因不明の熱性疾患として発見され、のちにリケッチアの一種 *Coxiella burnetii* による感染症であることが明らかにされた。Q熱という病名は、「Query fever = 不明熱」に由来している。

### 疫学

オーストラリアで発見されて以来、世界中でQ熱の患者が報告され、広く認識されるようになった。本菌は感染動物の尿、糞、乳汁などに排泄され、環境を汚染する。ヒトは主にこの汚染された環境中の粉塵やエアロゾルを吸入し、感染する。ウシやヒツジの未殺菌の乳製品・生肉などを摂食し感染することもあるが、稀である。

感染源はおもに家畜や愛玩動物であるが、自然界では多くの動物やダニが保菌しており、感染源となりうる。感染動物は症状がない(不顕性感染)ことが多いが、妊娠しているウシやヒツジが感染すると流産や死産をおこすこともある。これは、本菌が胎盤で爆発的に増殖するためである。このため、菌を大量に含む胎盤や羊水が原因となったヒトの集団感染が数多く報告されている。また、ネコの出産や流産時のヒトの感染も多い。一方で、ヒトからヒトへの感染はほとんどおこらない。

わが国でも、1988年カナダでヒツジの胎仔を扱う研究に従事していた医学留学生在が帰国後に発症し、最初のQ熱の症例として報告された。これを契機に国内での調査・研究が進み、わが国にもQ熱が存在することが明らかとなり、1999年4月からは感染症法による届出が始まった。1999年には12人、2000年には23人、2001年には40人の患者が報告され、増加傾向にある。これらの発生をみると、都市部での散発例が多く、集団感染が極めて少ないという特徴があった。感染源としては、患者が飼っている愛玩動物が重要視されているが、特定できない症例が多い。また、我々は最近、オーストラリアの農場視察に行った畜産関係者3人が同時に感染した輸入症例を経験している。

### 病原体

*Coxiella burnetii* (コクシエラバーネティー) はリケッチア科コクシエラ属の小桿菌で、多型性を示す(写真1)。他のリケッチアと同様に細胞内でのみ増殖できる偏性細胞内寄生細菌で、人工培地では増殖できない。その大きさは0.2～0.4×1.0 μmで、球菌の1/2～1/4である。増殖時の菌の形態には大型菌体 (large cell variant, LCV) と小型菌体 (small cell variant, SCV) とがある。ともに感染性があり、LCVは浸透圧に対し抵抗性が低いが、SCVは芽胞様構造を示し、熱、乾燥、消毒に強い環境中で安定である。そのため、他のリケッチアでは菌の伝播にダニなどの媒介(ベクター)を必要とするが、Q熱では必要としない。また、本菌は腸内細菌に似た相変

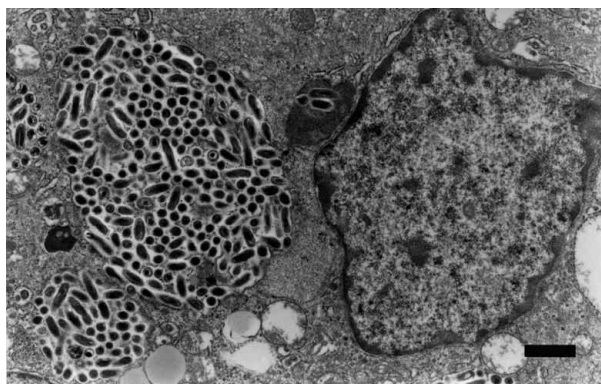


写真1. マウス脾臓中の *Coxiella burnetii*  
(静岡県環境衛生科学研究所 長岡宏美博士提供)

異をおこし、I相菌およびII相菌とよばれている。I相菌は野外(病原)株で菌体表面にリポ多糖(LPS)を保有し、II相菌は、I相菌を発育鶏卵や培養細胞を用いて長期継代し弱毒化した株でLPSを保有しない。このI相菌およびII相菌が血清診断には重要である(後述)。

### 臨床症状

Q熱の病態は大まかに急性と慢性の2つに分けられる。急性型の潜伏期は一般的には2～3週間で、感染量が多いと短くなる。症状は発熱、頭痛、筋肉痛、全身倦怠感、呼吸器症状などで、インフルエンザ様である。しかし、主症状が肺炎、肝炎、あるいはその他の症状であったりと、その臨床像は多彩である。他のリケッチア症と異なり、皮疹がみられることは稀である。検査所見では、CRP、肝酵素(GOT、GPT)の上昇、血小板の減少、貧血などがみられる。また、急性型の2～10%は心内膜炎を主徴とする慢性型に移行するといわれており、適切な治療をしないと致死率も高くなる。海外では、急性Q熱患者が回復後しばらくして倦怠感、不眠、関節痛などを訴え、数ヶ月～十数年もの間持続し、慢性疲労症候群と診断される症例が報告されている。

Q熱に特徴的な症状や所見がないため、臨床的に他の熱性呼吸器疾患や細菌性心内膜炎と鑑別することは困難と思われる。したがって、上記のような症状があり、動物との接触歴や海外(流行地)への渡航歴があり、起因菌やウイルスが証明できない場合には、本症を疑ってみる必要がある。

### 病原診断

血清診断は主に間接蛍光抗体法などで行われる。急性型では、まずII相菌に対する抗体が上昇し、その後I相菌に対する抗体が上昇する。一般に、I相菌よりII相菌に対する抗体価が高くなる。急性型の確定診断には、II相菌あるいは双方を用いて、急性期と回復期のペア血清での抗体価の上昇を証明することによって行われる。抗体価は最初の感染から数ヶ月～数年持続する。陽性判定は、ペア血清で4倍以上の抗体価の上昇があったものとする。単独血清での判定は難しいことが多い。一方、慢性型の確定診断では、I相菌およびII相菌に対する高い抗体価がみられ、一般にI相菌の抗体価がII相菌の抗体価より高いことから判定される。また、慢性疲労症候群様患者では全般的に抗体価が低いといわれている。

また、急性期の血液からPCR法により遺伝子検出を行うことも可能である。外膜蛋白質、superoxide dismutase遺伝子などを標的としたPCR法が利用されている。我々は、主に全血の Buffy-coat 分画から検出を行っており、急性極期には血清中からの検出も可能である。

### 治療・予防

治療にはテトラサイクリン系の抗菌薬が第一選択薬であり、クロラムフェニコールなども有効である。急性型の場合には、抗菌薬による治療を発症から3日以内に行うと一般的に効果が最も高いが、2～3週間は続ける必要がある。仮に再燃したら、すぐに投薬を再開することが重要である。また、慢性型の場合には予後が悪く、数年にわたる投薬が行われても十分に効果が得られないこともある。急性型の発症の際に適切な治療を行い、慢性型に移行させないことが重要である。

海外では家畜の出産シーズンに感染が発生することが多く、出産時の動物(愛玩動物も含め)特に死・流産などをおこした動物の取り扱いには要注意である。流産胎盤などは焼却し、汚染された環境はクレゾール石けん液、5%過酸化水素水で消毒する。また、オーストラリアでは屠畜場の従業員などハイリスク群にはワクチンが使用されているが、わが国では使用できない。

### 感染症法における取り扱い

Q熱は4類感染症全数把握疾患であり、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出る。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの。

- ・病原体の検出  
例、血液などからの病原体の分離など
- ・病原体の遺伝子の検出  
例、PCR法など
- ・病原体に対する抗体の検出  
例、間接蛍光抗体法( IF )法で抗体が4倍以上の上昇など

( 国立感染症研究所ウイルス第一部 小川基彦 )



## 読者のコーナー

Q: 3歳5カ月の娘がおります。1歳1カ月の時にポリオの1回目の集団接種を受けました。その後転居しましたので、2回目の接種を受けられるように保健センターに連絡をとりました。ところが2回目の接種予定が平成12年( 2000年 )の5月だったので、予防接種が中止になってしまいました。その後ポリオの予防接種を受けておりません。

質問ですが、

1. ポリオの予防接種の2回目は受けた方がよいか? 1回目と2回目の間があいてしまっても効果に問題はないのか?
2. 標準接種年齢( 18カ月まで )は過ぎているが受けられるのか?
3. 費用はどうなるのか?

ポリオに関しては中止時期があったので、その後接種をサボっている私のような人がいるかもしれませんが、予防接種法で規定されている予防接種は時期になると個人宛てに連絡がくるものと思っていましたが、そうではないのですね。( 埼玉県 Yさん )

### ポリオの予防接種

1. ポリオ生ワクチンは3つの型が入っているワクチンです。1回のみ接種ですと、3つの型すべてに対して十分な免疫が獲得されていないことが多いので、2回接種になっています。3回以上接種する国もあるくらいですから、是非2回目の接種を受けておかれることをお勧めいたします。6週間以上の間隔をあけて2回接種するのが規定になっておりますので、期間があいてしまっても大丈夫です。
2. もちろん受けられます。標準接種年齢はご指摘の通り3カ月から18カ月までですが、7歳半までは予防接種法に基づく定期接種の接種期間に入っています。7歳半を過ぎてしまった場合でも、任意接種としてならば受けることができますが、やはり定期接種の期間内に受けておかれることをお勧めいたします。
3. 費用は定期接種のワクチンに関しては、市区町村がいくらかの負担をしてくれている、あるいは無料のことがほとんどです。ポリオについていいますと、7歳半まではその期間になります。市区町村によって負担額が多少異なることがありますので、これについてはお住まいの市区町村などにお問い合わせ下さい。7歳半を過ぎますと任意接種になりますので、全額自費になります。

( 国立感染症研究所感染症情報センター 多屋馨子 岡部信彦 )

\*\*\*\*\*

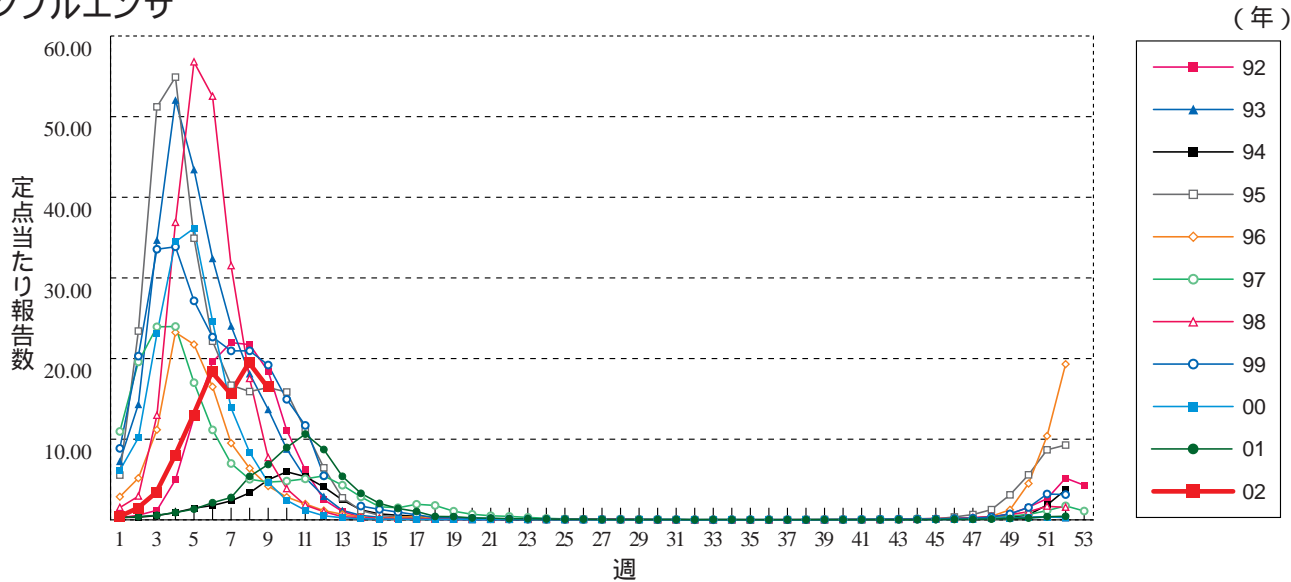
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名( タイトル )の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

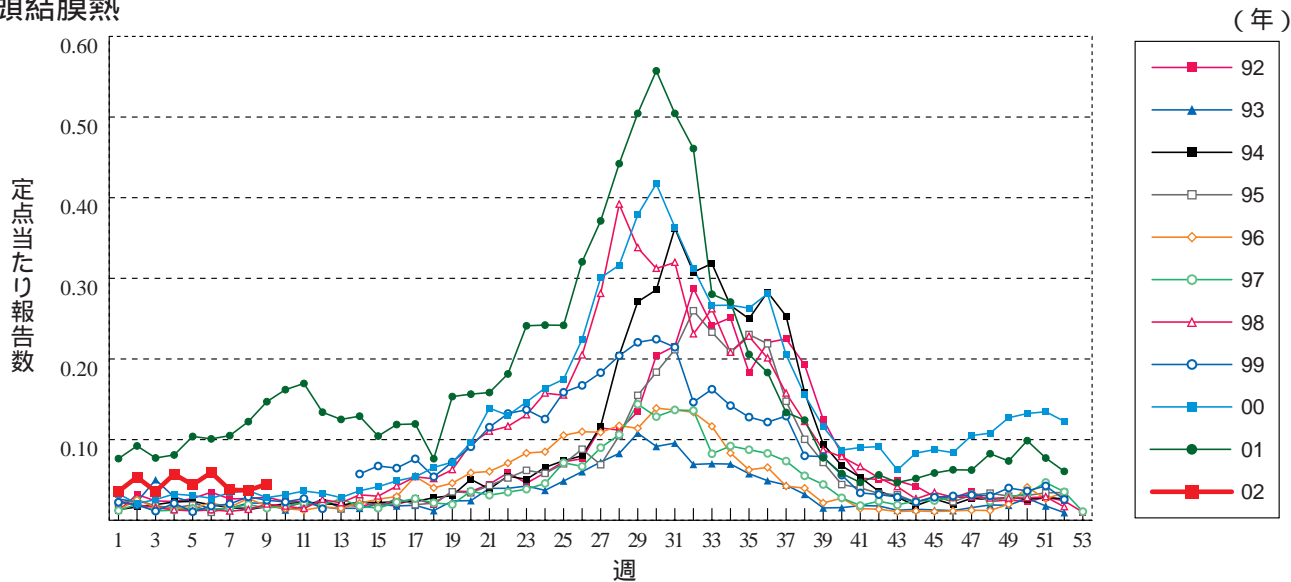


**グラフ総覧( 9週 )**

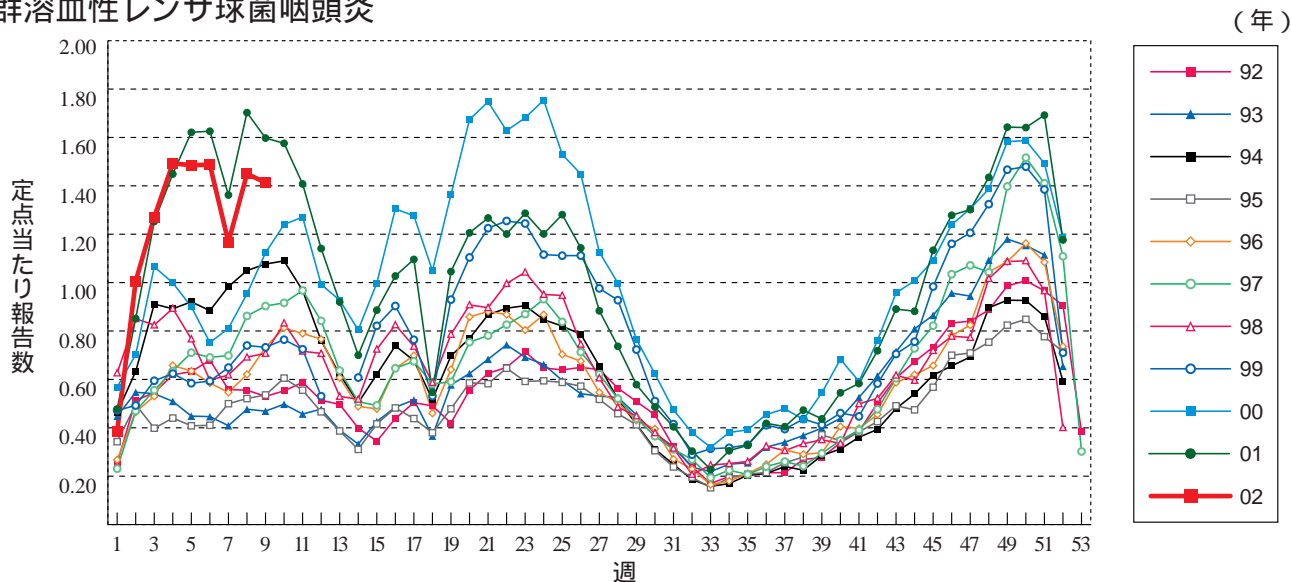
**インフルエンザ**



**咽頭結膜熱**

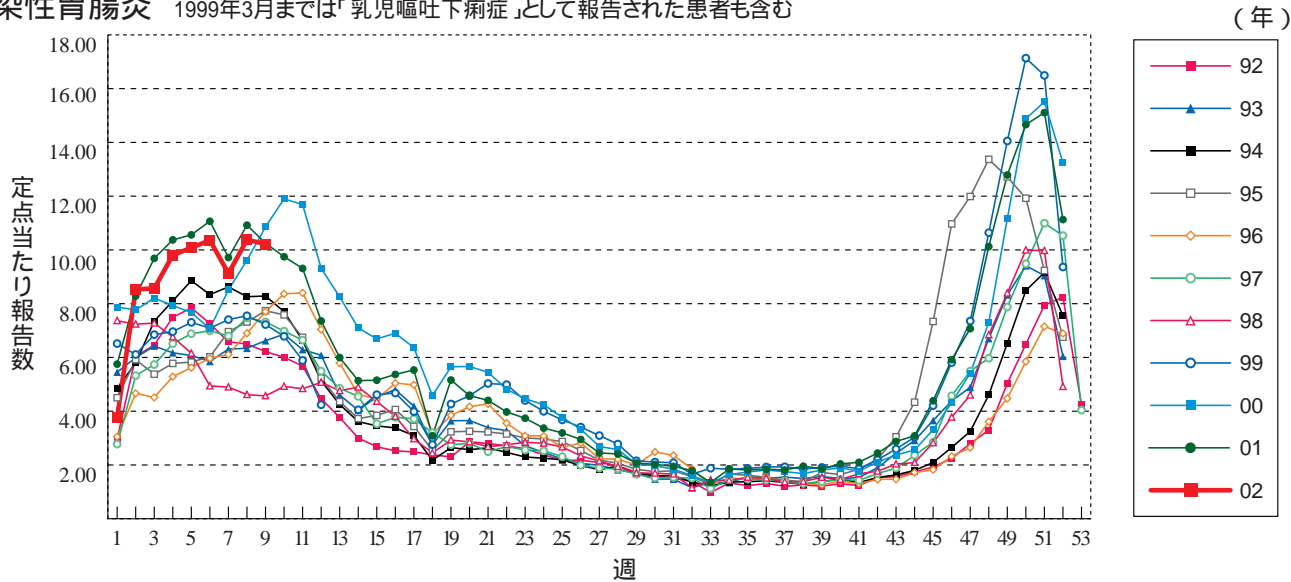


**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**

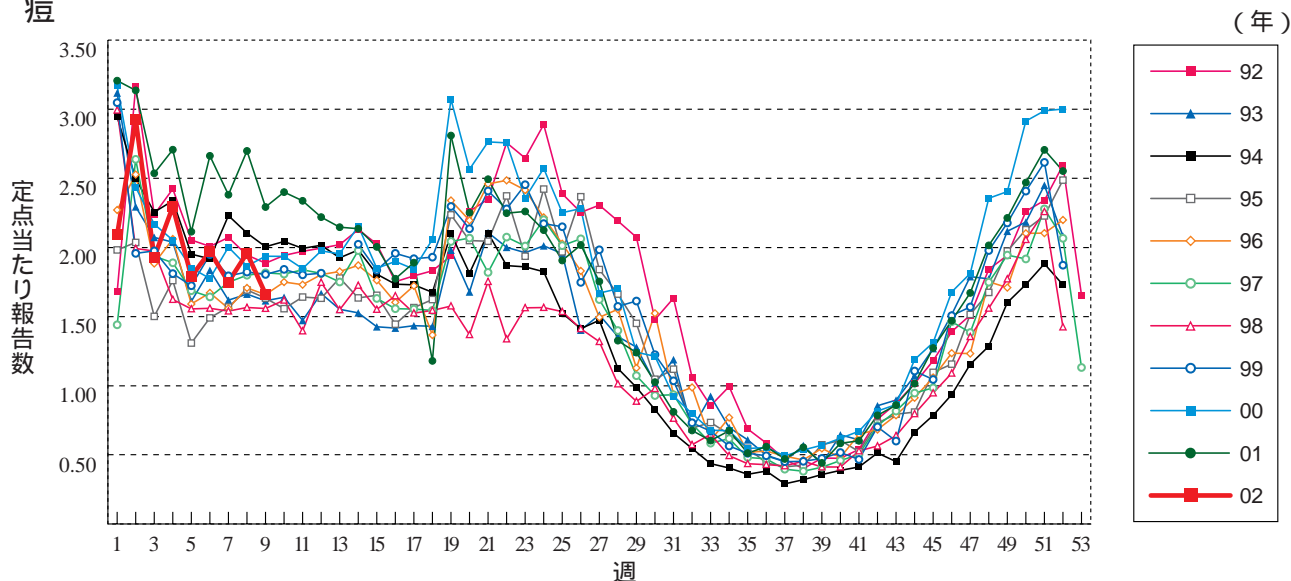




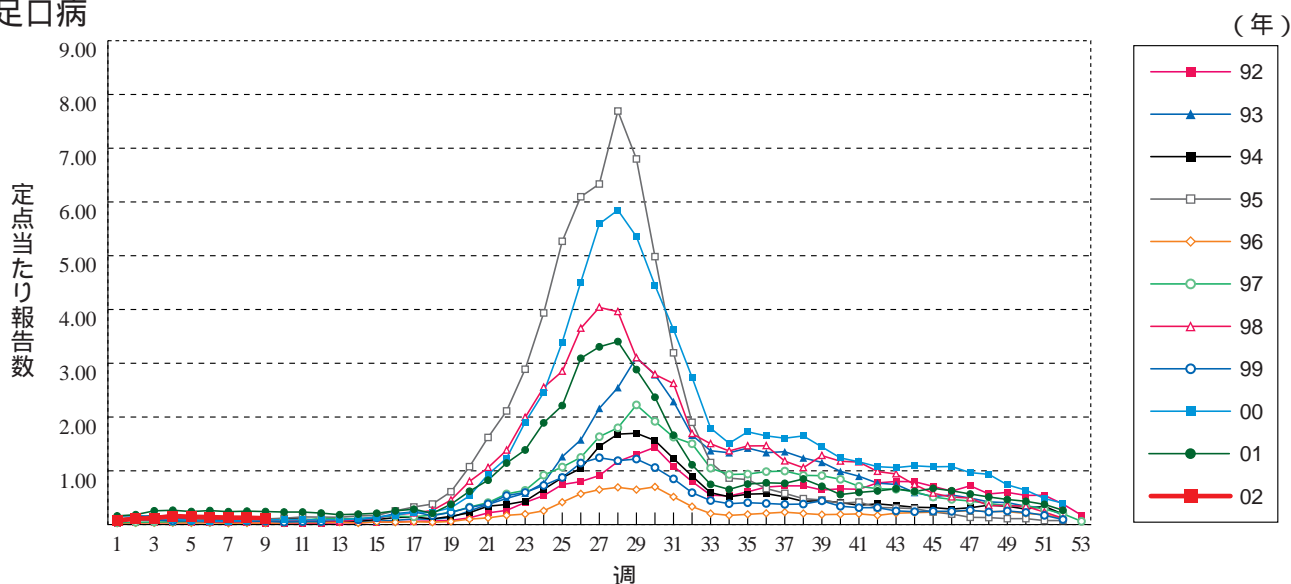
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



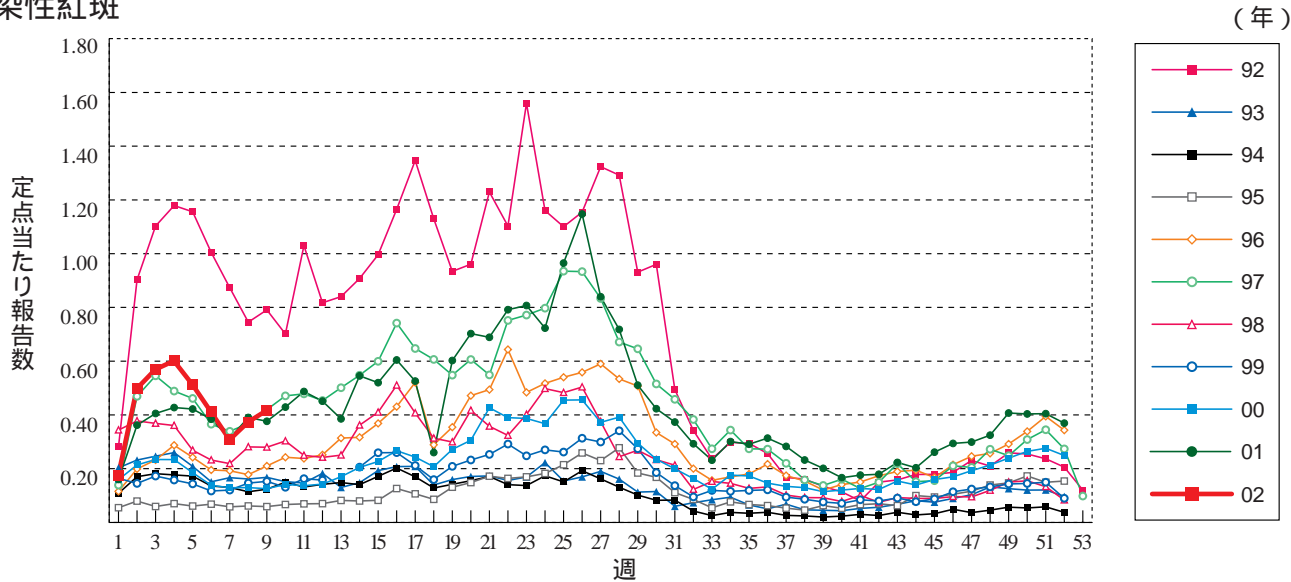
**水痘**



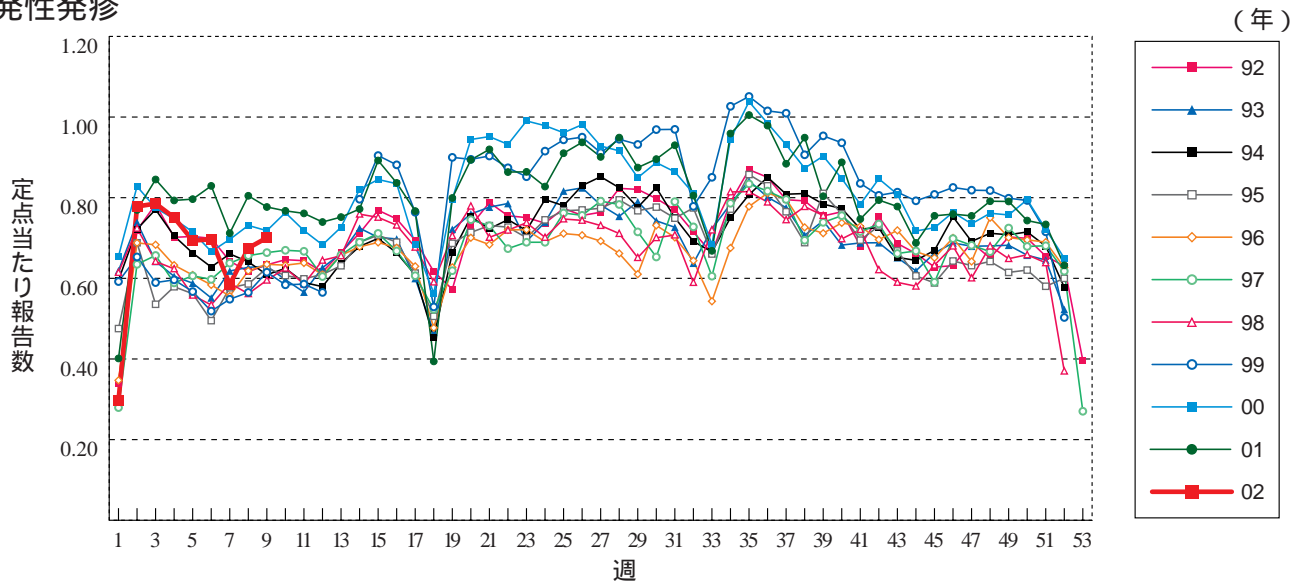
**手足口病**



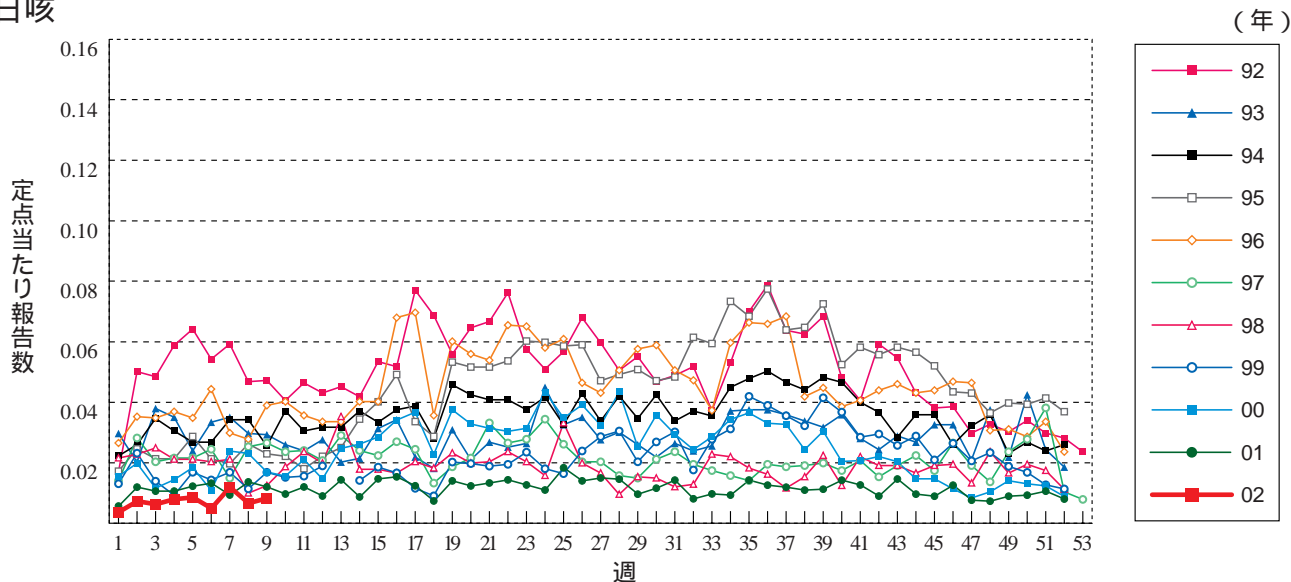
伝染性紅斑



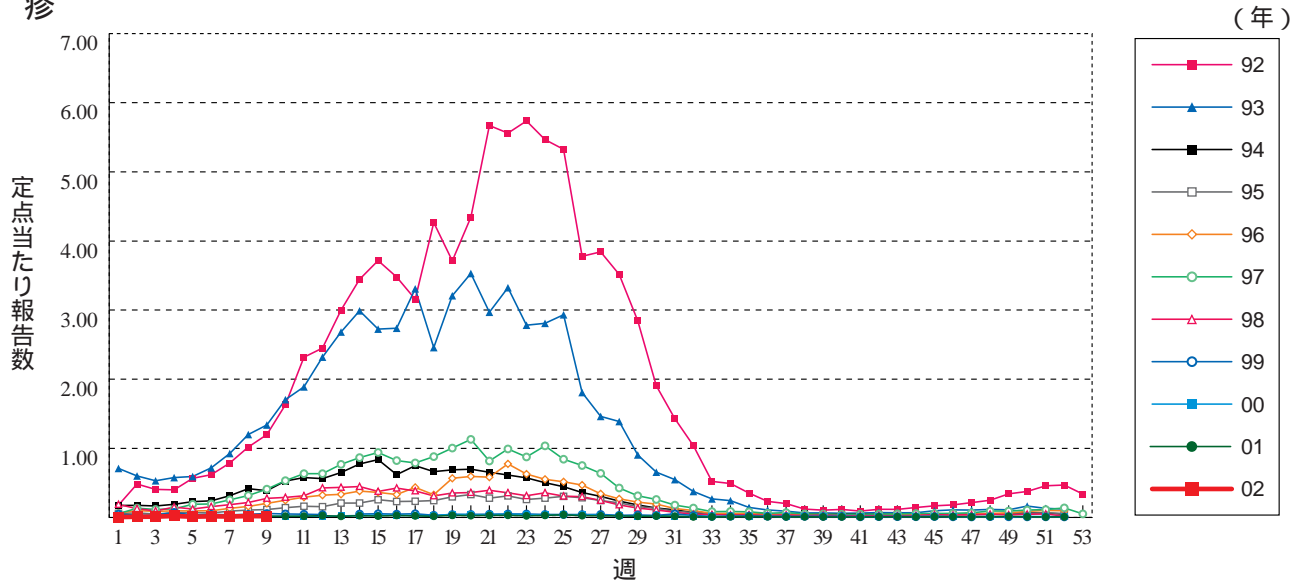
突発性発疹



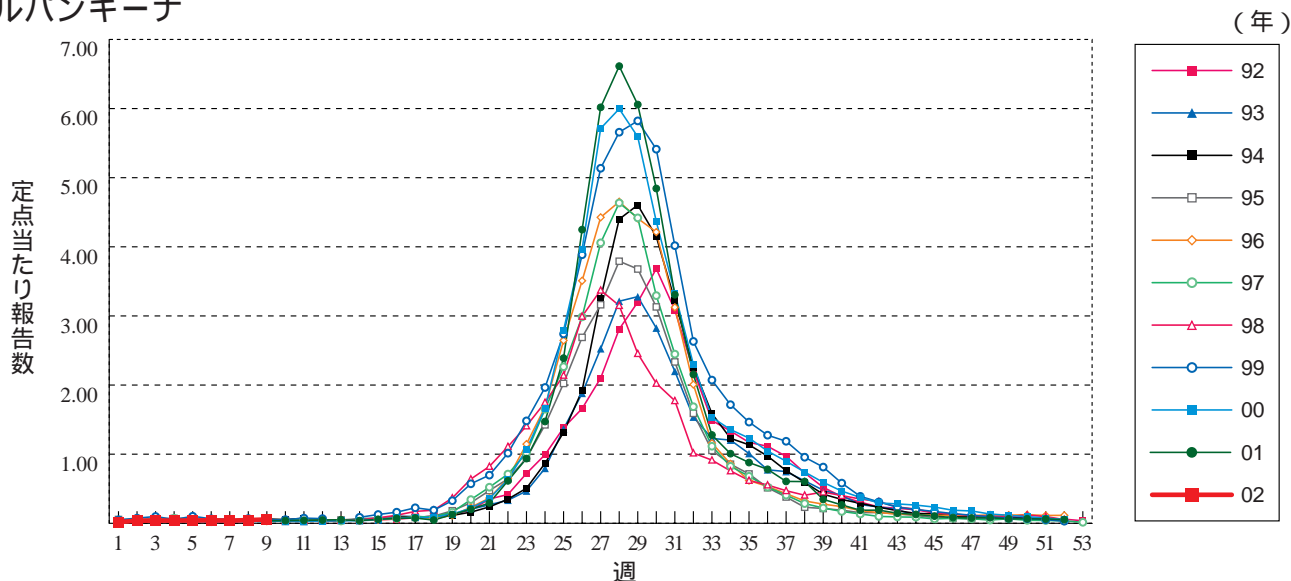
百日咳



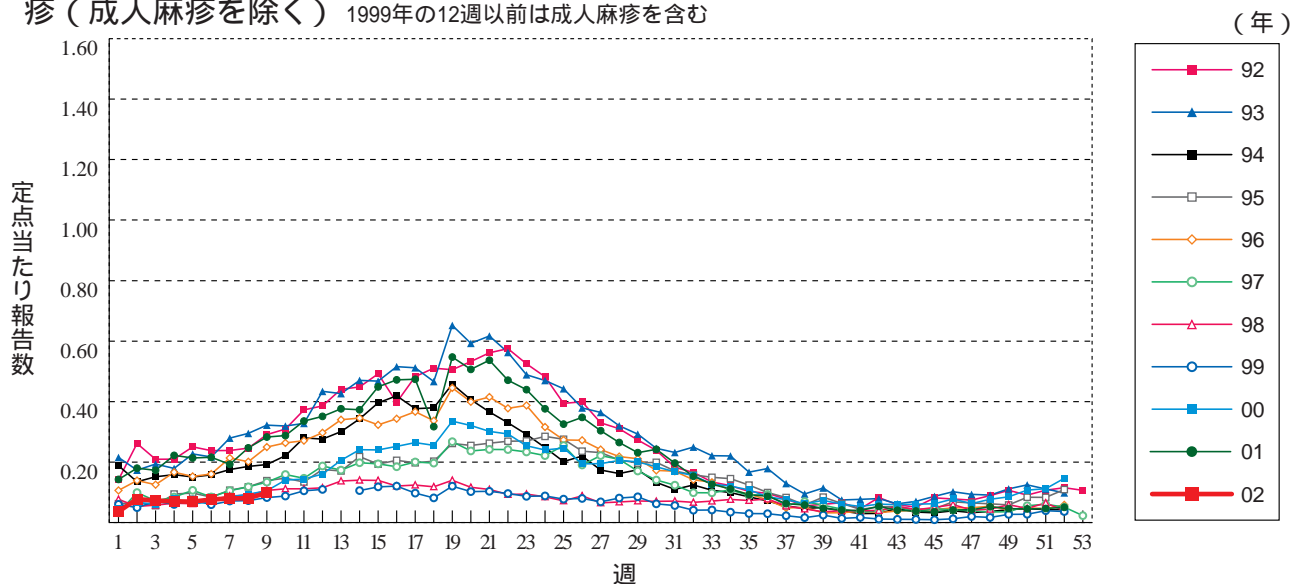
風 疹



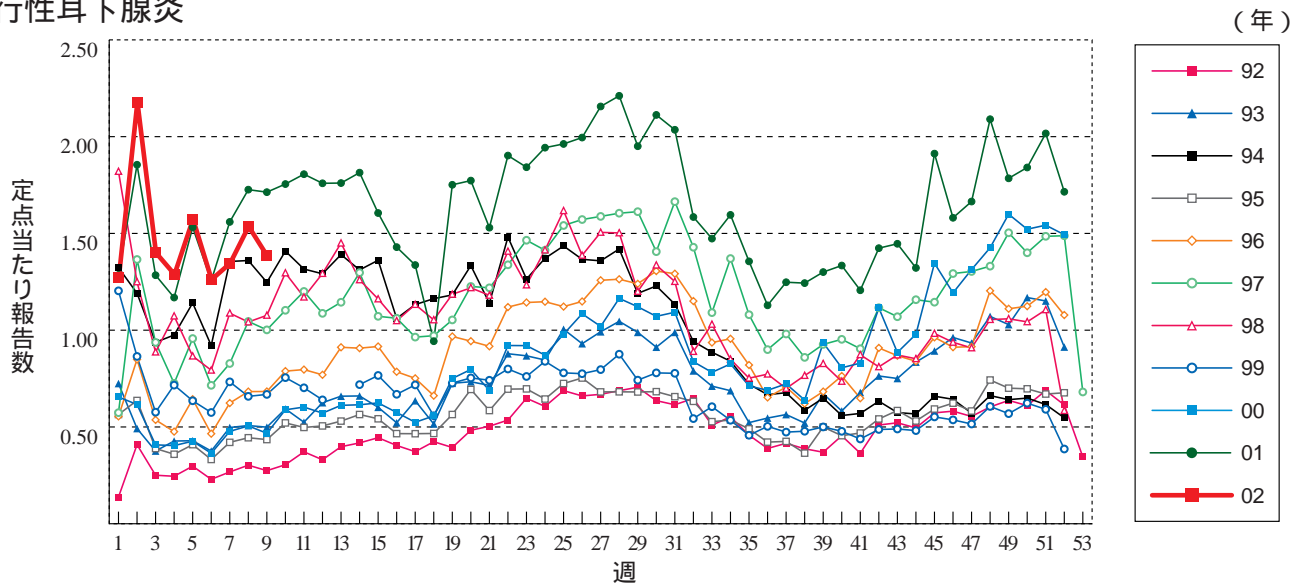
ヘルパンギーナ



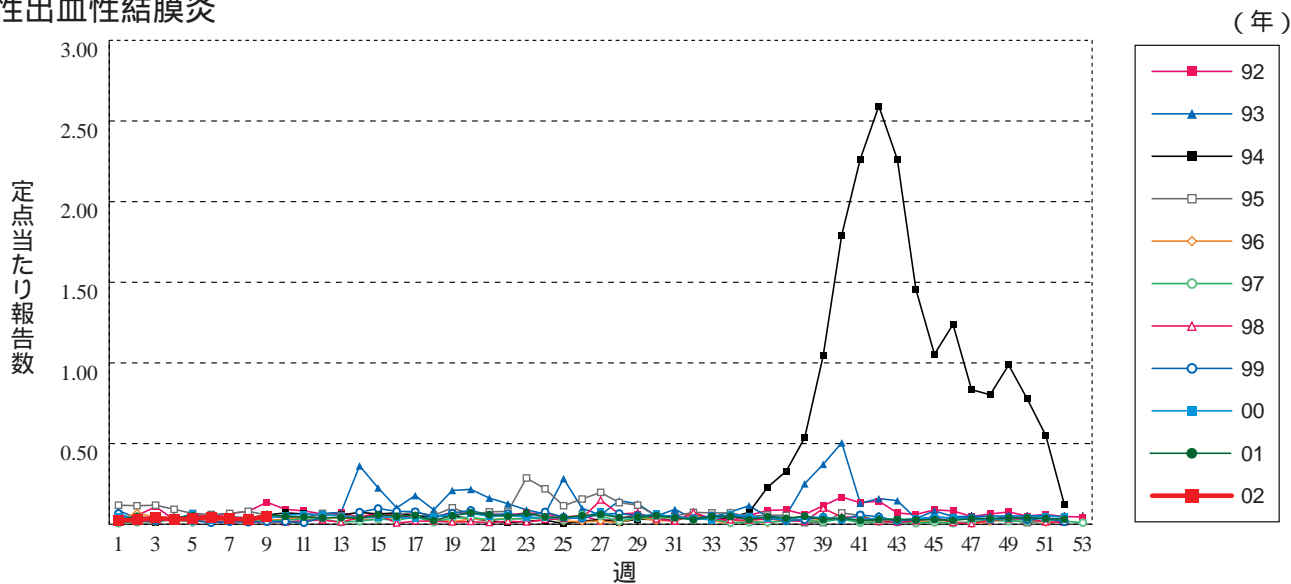
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



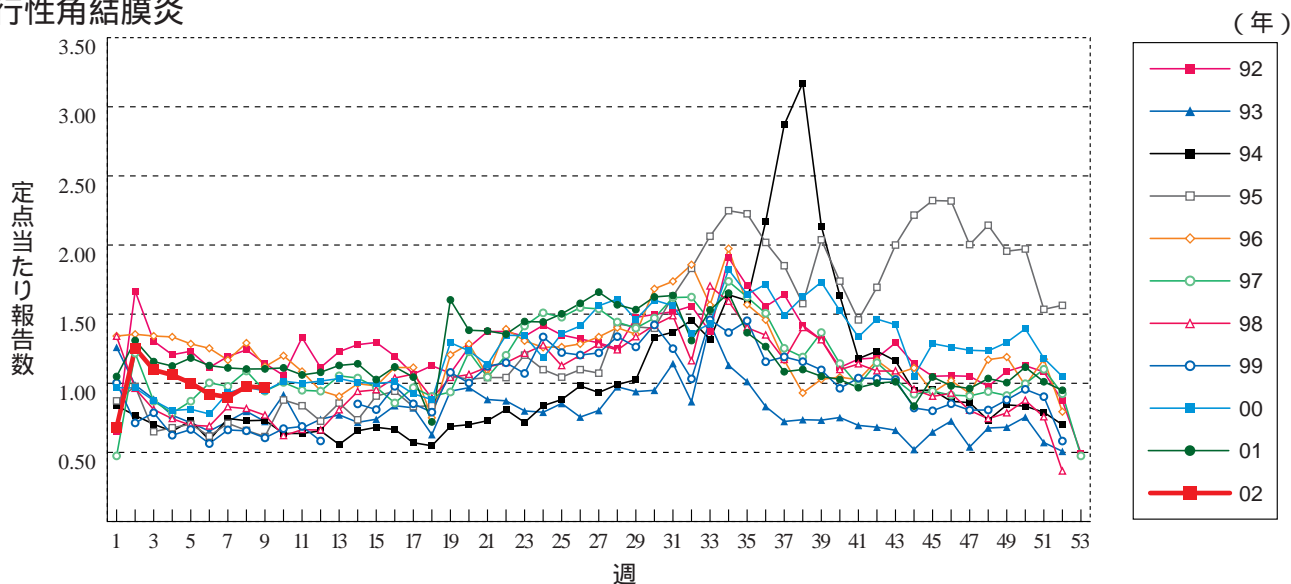
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

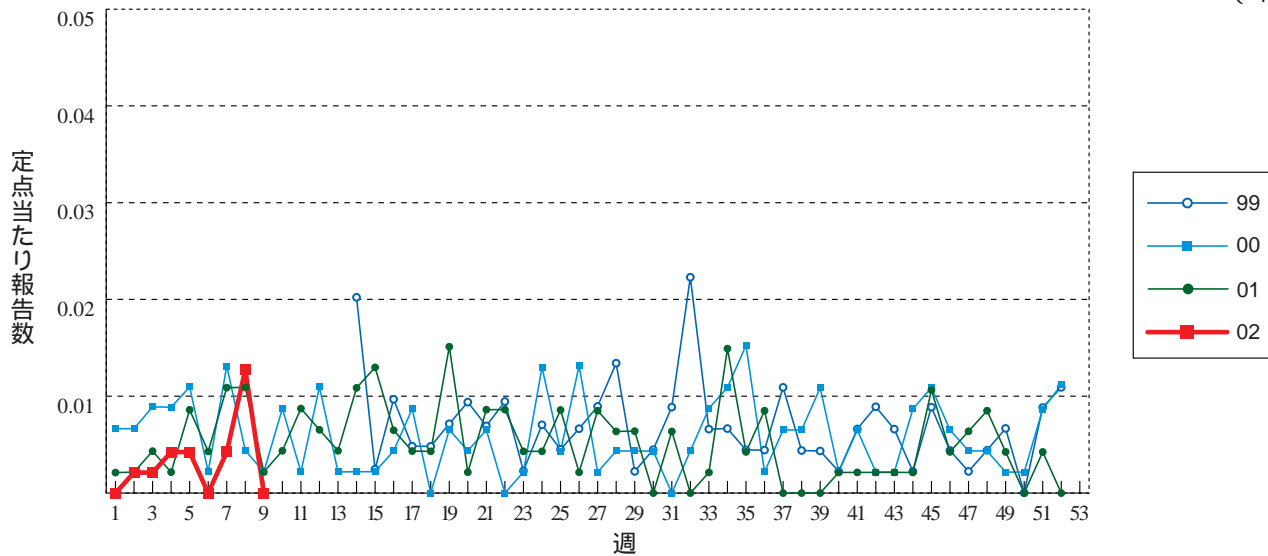


流行性角結膜炎



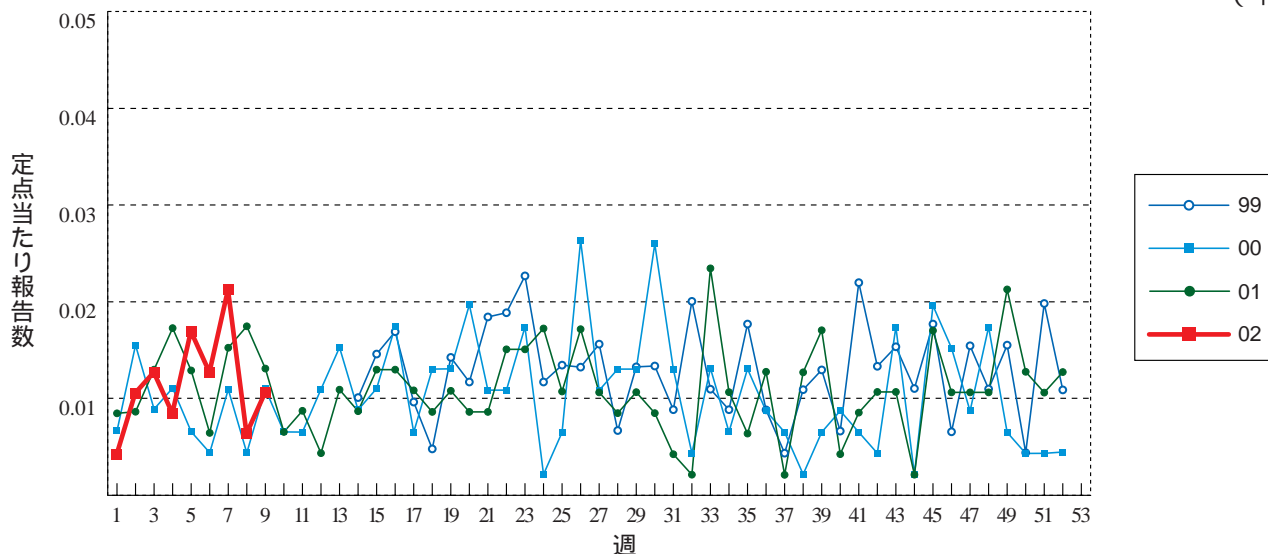
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



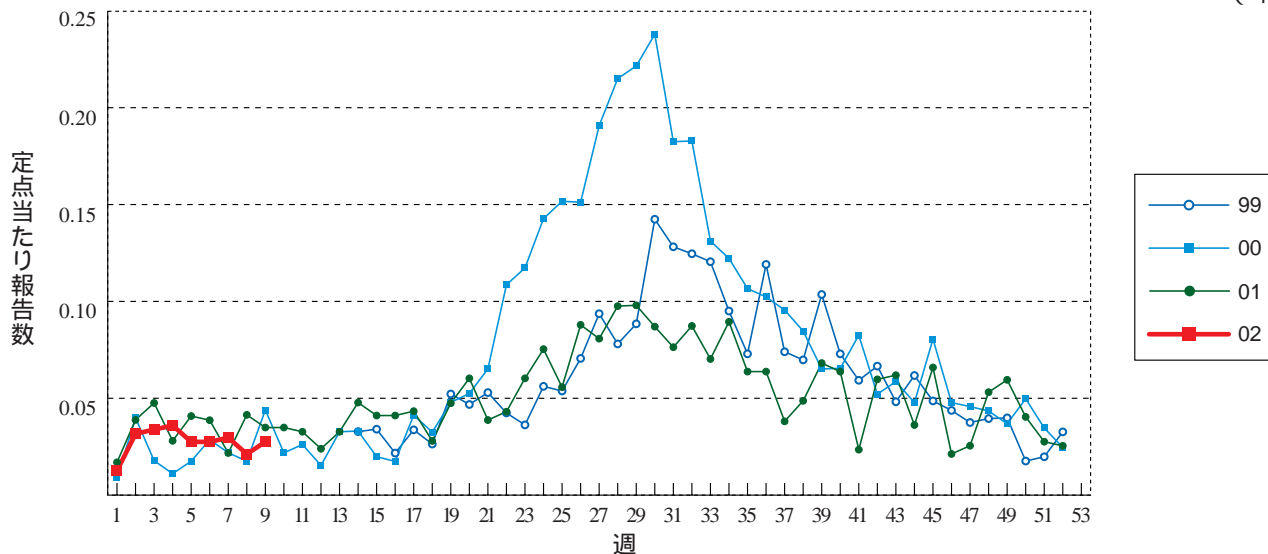
細菌性髄膜炎

(年)



無菌性髄膜炎

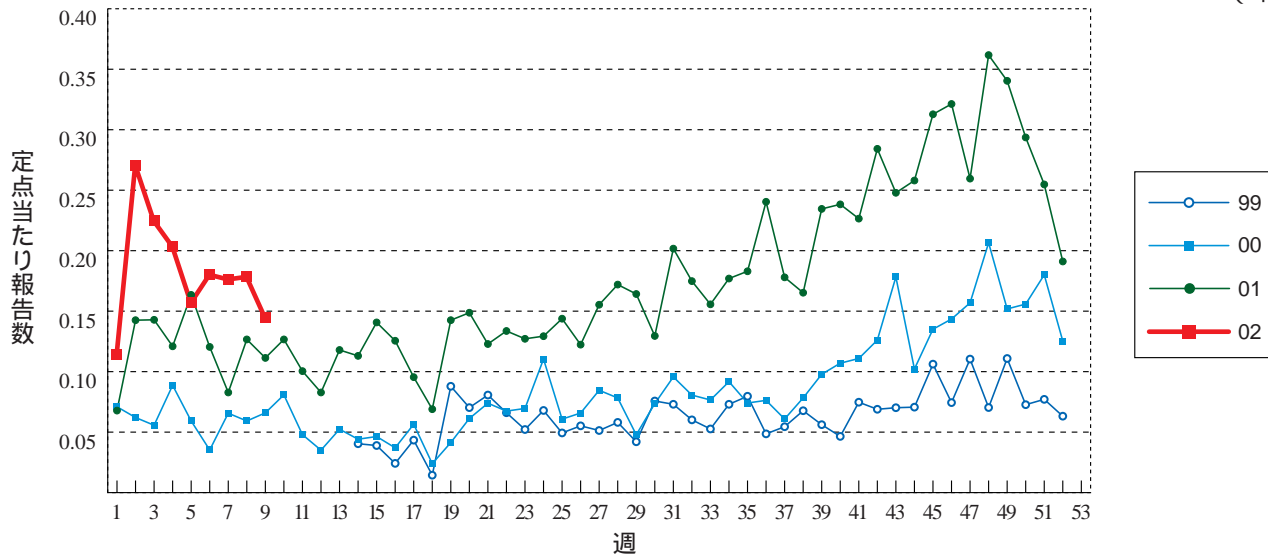
(年)





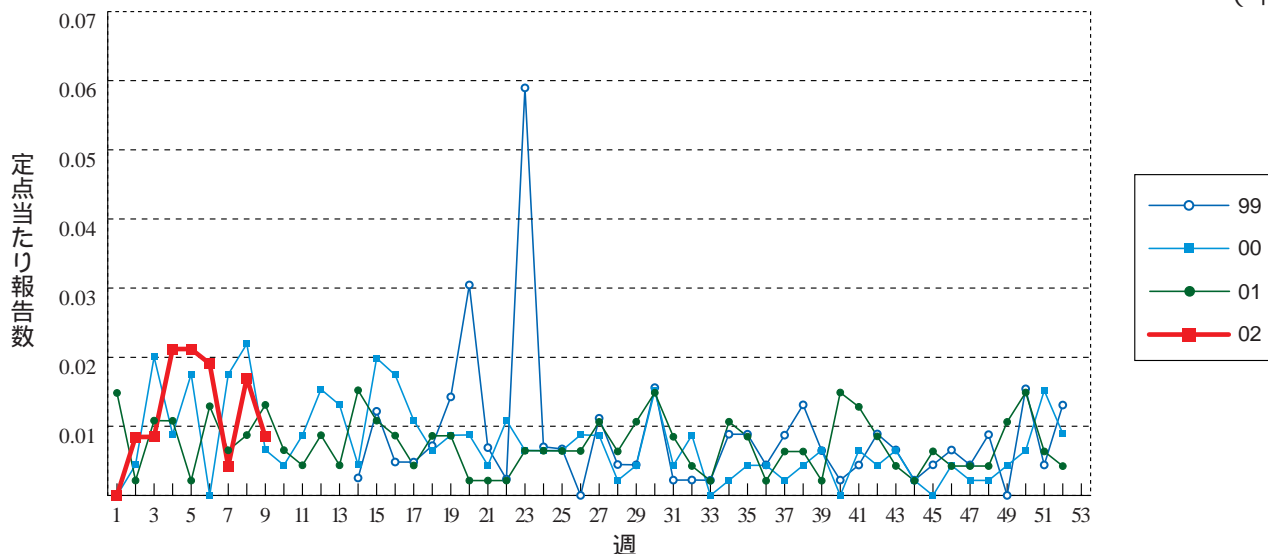
マイコプラズマ肺炎

(年)



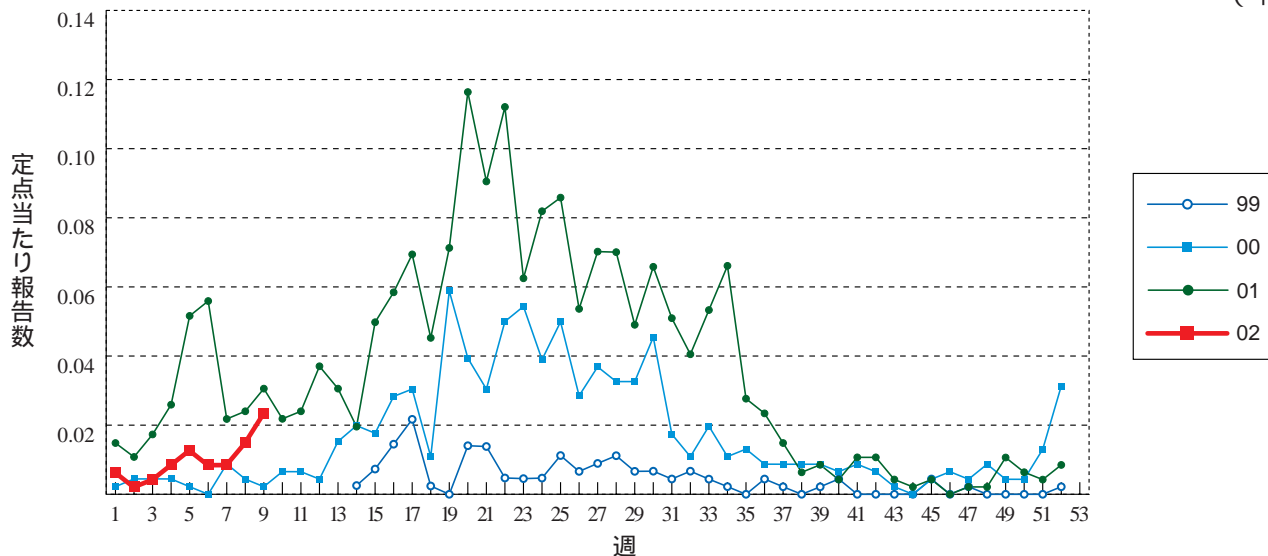
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





### 9週のデータ

注)表中の報告数は3月7日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年9週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	24	204	1	9	-	6	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	60	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	13	-	5	-	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	1	2	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	23	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年9週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	5	78	8	59	-	2	-	-	2	19	-	-	5	149
北海道	-	-	-	-	-	2	1	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
秋田県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	2	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	-	2	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
東京都	-	-	-	-	1	4	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26
神奈川県	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	1	3	-	-	-	7
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
愛知県	-	-	-	-	-	5	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	3	7
三重県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	4	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	-	5	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
兵庫県	-	-	-	-	-	18	1	4	-	-	-	-	1	2	-	-	-	6
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	6
広島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	-	5	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鹿児島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
沖縄県	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年9週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	1	-	-	-	1	1	23	1	20	9	111	-	1	1	11	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	1	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	2	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	5	50	-	-	1	4	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	2	1	3	2	10	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年9週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	30	1	7	-	-	-	-	-	-	2	85	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
東京都	-	-	-	-	-	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-	-	15	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	



第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年9週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	6	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	1	20
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	3
神奈川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年9週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	77177	16.48	136	0.04	4280	1.41	30936	10.22	5035	1.66	355	0.12	1262	0.42	2121	0.70	25	0.01
北海道	3810	16.57	5	0.03	553	3.81	482	3.32	196	1.35	36	0.25	61	0.42	77	0.53	2	0.01
青森県	1829	28.58	-	-	43	1.05	110	2.68	38	0.93	1	0.02	40	0.98	23	0.56	-	-
岩手県	1940	31.80	-	-	49	1.32	181	4.89	43	1.16	10	0.27	6	0.16	25	0.68	-	-
宮城県	2565	26.44	2	0.03	93	1.58	1029	17.44	86	1.46	9	0.15	22	0.37	51	0.86	-	-
秋田県	1370	24.91	3	0.09	53	1.51	323	9.23	45	1.29	-	-	57	1.63	23	0.66	-	-
山形県	1489	31.02	-	-	166	5.53	560	18.67	88	2.93	-	-	19	0.63	31	1.03	-	-
福島県	2012	25.15	-	-	73	1.59	491	10.67	101	2.20	29	0.63	39	0.85	51	1.11	-	-
茨城県	1327	11.25	1	0.01	75	1.01	397	5.36	65	0.88	3	0.04	19	0.26	38	0.51	-	-
栃木県	887	12.67	1	0.02	64	1.39	361	7.85	50	1.09	2	0.04	25	0.54	24	0.52	-	-
群馬県	1296	12.96	7	0.11	94	1.52	352	5.68	89	1.44	1	0.02	16	0.26	36	0.58	2	0.03
埼玉県	5024	19.63	6	0.04	213	1.34	2003	12.60	269	1.69	7	0.04	43	0.27	115	0.72	2	0.01
千葉県	4842	24.21	5	0.04	230	1.74	1602	12.14	229	1.73	3	0.02	46	0.35	98	0.74	1	0.01
東京都	1918	10.78	14	0.10	82	0.58	1061	7.47	134	0.94	6	0.04	24	0.17	49	0.35	-	-
神奈川県	5243	15.98	9	0.04	234	1.14	2120	10.29	277	1.34	18	0.09	74	0.36	143	0.69	-	-
新潟県	3417	41.17	9	0.18	133	2.66	615	12.30	170	3.40	28	0.56	50	1.00	56	1.12	-	-
富山県	904	18.83	-	-	76	2.62	336	11.59	57	1.97	12	0.41	45	1.55	25	0.86	-	-
石川県	1101	22.94	1	0.03	43	1.48	336	11.59	92	3.17	6	0.21	70	2.41	31	1.07	-	-
福井県	465	14.53	2	0.09	64	2.91	401	18.23	72	3.27	-	-	4	0.18	21	0.95	-	-
山梨県	720	17.56	-	-	34	1.36	138	5.52	20	0.80	1	0.04	4	0.16	9	0.36	-	-
長野県	2125	24.71	4	0.07	102	1.89	610	11.30	85	1.57	3	0.06	53	0.98	41	0.76	-	-
岐阜県	1978	28.26	1	0.02	58	1.23	225	4.79	58	1.23	8	0.17	7	0.15	36	0.77	-	-
静岡県	2363	17.25	1	0.01	116	1.35	929	10.80	182	2.12	11	0.13	26	0.30	77	0.90	-	-
愛知県	3339	17.48	8	0.04	157	0.86	1139	6.26	231	1.27	15	0.08	40	0.22	87	0.48	-	-
三重県	1827	25.03	-	-	40	0.89	579	12.87	65	1.44	5	0.11	27	0.60	57	1.27	1	0.02
滋賀県	362	6.96	-	-	14	0.45	166	5.35	52	1.68	7	0.23	8	0.26	14	0.45	-	-
京都府	1176	9.33	-	-	78	1.03	697	9.17	94	1.24	8	0.11	46	0.61	37	0.49	-	-
大阪府	2307	7.59	9	0.05	174	0.89	1421	7.29	270	1.38	28	0.14	63	0.32	125	0.64	2	0.01
兵庫県	2698	13.63	3	0.02	102	0.80	1373	10.73	303	2.37	5	0.04	66	0.52	98	0.77	1	0.01
奈良県	596	10.84	-	-	30	0.86	384	10.97	36	1.03	9	0.26	16	0.46	18	0.51	-	-
和歌山県	610	12.20	-	-	18	0.58	325	10.48	22	0.71	7	0.23	11	0.35	26	0.84	1	0.03
鳥取県	368	12.69	-	-	31	1.63	234	12.32	41	2.16	3	0.16	9	0.47	22	1.16	-	-
島根県	276	7.26	1	0.04	19	0.83	139	6.04	31	1.35	8	0.35	8	0.35	11	0.48	-	-
岡山県	914	10.88	-	-	37	0.69	498	9.22	73	1.35	9	0.17	6	0.11	17	0.31	1	0.02
広島県	3466	29.13	5	0.07	50	0.67	875	11.67	106	1.41	21	0.28	10	0.13	41	0.55	1	0.01
山口県	602	8.60	8	0.16	89	1.82	852	17.39	151	3.08	-	-	19	0.39	50	1.02	-	-
徳島県	397	10.45	4	0.17	10	0.43	203	8.83	30	1.30	3	0.13	2	0.09	14	0.61	-	-
香川県	583	11.43	-	-	32	1.00	366	11.44	58	1.81	6	0.19	20	0.63	27	0.84	-	-
愛媛県	1562	24.41	3	0.08	72	1.85	359	9.21	44	1.13	1	0.03	16	0.41	44	1.13	-	-
高知県	693	14.14	-	-	48	1.55	297	9.58	36	1.16	12	0.39	12	0.39	19	0.61	-	-
福岡県	1550	7.83	2	0.02	314	2.62	2588	21.57	318	2.65	1	0.01	38	0.32	120	1.00	3	0.03
佐賀県	195	5.00	2	0.09	37	1.61	325	14.13	47	2.04	-	-	5	0.22	30	1.30	-	-
長崎県	1099	15.70	-	-	29	0.66	413	9.39	60	1.36	3	0.07	29	0.66	22	0.50	-	-
熊本県	723	8.93	6	0.12	63	1.29	803	16.39	95	1.94	2	0.04	20	0.41	44	0.90	7	0.14
大分県	693	11.95	-	-	89	2.47	760	21.11	66	1.83	2	0.06	10	0.28	39	1.08	1	0.03
宮崎県	1135	18.92	1	0.03	54	1.46	598	16.16	100	2.70	2	0.05	17	0.46	39	1.05	-	-
鹿児島県	841	8.58	13	0.22	38	0.63	820	13.67	158	2.63	2	0.03	13	0.22	34	0.57	-	-
沖縄県	540	9.31	-	-	7	0.21	60	1.76	102	3.00	2	0.06	1	0.03	6	0.18	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年9週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	56	0.02	168	0.06	297	0.10	4188	1.38	31	0.05	615	0.97	-	-	5	0.01	13	0.03
北海道	-	-	1	0.01	8	0.06	86	0.59	-	-	24	0.83	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	1	0.02	6	0.15	61	1.49	-	-	12	1.09	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	2	0.05	1	0.03	37	1.00	-	-	9	0.75	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	0.02	2	0.03	3	0.05	101	1.71	-	-	1	0.09	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	1	0.03	-	-	90	2.57	1	0.14	4	0.57	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	1	0.03	-	-	171	5.70	-	-	25	3.13	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	2	0.04	12	0.26	110	2.39	-	-	17	1.42	-	-	-	-	-	-
茨城県	4	0.05	1	0.01	11	0.15	110	1.49	-	-	44	2.75	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	4	0.09	1	0.02	100	2.17	1	0.08	17	1.42	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	2	0.03	7	0.11	49	0.79	-	-	34	2.43	-	-	-	-	2	0.20
埼玉県	1	0.01	6	0.04	41	0.26	115	0.72	-	-	29	0.83	-	-	-	-	-	-
千葉県	2	0.02	2	0.02	38	0.29	141	1.07	2	0.06	33	0.94	-	-	-	-	-	-
東京都	1	0.01	1	0.01	6	0.04	80	0.56	-	-	26	1.86	-	-	1	0.04	-	-
神奈川県	2	0.01	1	0.00	12	0.06	201	0.98	4	0.10	38	0.90	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	2	0.04	-	-	127	2.54	-	-	6	1.00	-	-	-	-	-	-
富山県	1	0.03	5	0.17	6	0.21	86	2.97	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	1	0.03	-	-	100	3.45	-	-	6	0.86	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	14	0.64	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
山梨県	-	-	-	-	2	0.08	39	1.56	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	2	0.04	1	0.02	159	2.94	-	-	20	2.00	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	6	0.13	70	1.49	4	0.36	2	0.18	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.02	1	0.01	14	0.16	125	1.45	-	-	2	0.10	-	-	-	-	-	-
愛知県	5	0.03	6	0.03	74	0.41	171	0.94	1	0.03	17	0.49	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	1	0.02	1	0.02	50	1.11	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	-	-	1	0.03	26	0.84	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.29
京都府	1	0.01	1	0.01	4	0.05	64	0.84	-	-	4	0.21	-	-	-	-	-	-
大阪府	5	0.03	8	0.04	9	0.05	181	0.93	3	0.06	23	0.44	-	-	-	-	1	0.07
兵庫県	1	0.01	2	0.02	1	0.01	141	1.10	1	0.03	17	0.47	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	1	0.03	64	1.83	1	0.11	8	0.89	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	1	0.03	-	-	5	0.16	55	1.77	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	2	0.11	12	0.63	15	0.79	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	1	0.04	2	0.09	14	0.61	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	0.02	97	1.80	-	-	15	1.25	-	-	1	0.20	-	-
広島県	3	0.04	14	0.19	-	-	56	0.75	-	-	31	1.55	-	-	1	0.05	1	0.05
山口県	3	0.06	14	0.29	1	0.02	31	0.63	-	-	27	3.00	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	55	2.39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	1	0.03	37	1.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	3	0.08	-	-	92	2.36	-	-	17	2.43	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	1	0.03	1	0.03	14	0.45	-	-	7	2.33	-	-	1	0.13	1	0.13
福岡県	16	0.13	13	0.11	2	0.02	150	1.25	1	0.04	37	1.42	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	8	0.35	-	-	22	0.96	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	5	0.11	1	0.02	68	1.55	9	1.13	12	1.50	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.02	28	0.57	-	-	53	1.08	-	-	12	1.33	-	-	1	0.07	2	0.13
大分県	-	-	19	0.53	-	-	64	1.78	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	1	0.03	4	0.11	122	3.30	-	-	16	4.00	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	1	0.02	3	0.05	-	-	167	2.78	1	0.17	6	1.00	-	-	-	-	-	-
沖縄県	4	0.12	-	-	1	0.03	207	6.09	2	0.20	9	0.90	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成14年9週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	68	0.14	4	0.01	11	0.02
北海道	2	0.09	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	12	0.60	-	-	-	-
宮城県	11	0.92	1	0.08	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-
山形県	1	0.10	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	0.11	1	0.11
千葉県	1	0.08	1	0.08	1	0.08
東京都	1	0.04	-	-	2	0.08
神奈川県	1	0.09	-	-	3	0.27
新潟県	4	0.33	-	-	-	-
富山県	3	0.60	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	1	0.20
福井県	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	3	0.30	1	0.10	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.20	-	-	1	0.10
愛知県	2	0.15	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	3	0.20	-	-	-	-
兵庫県	1	0.08	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	1	0.09
鳥取県	3	0.60	-	-	-	-
島根県	2	0.25	-	-	-	-
岡山県	2	0.40	-	-	-	-
広島県	3	0.14	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	1	0.13
福岡県	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	1	0.08	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	-	-
大分県	2	0.20	-	-	-	-
宮崎県	3	0.43	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	-	-

感染症週報 第4巻、第9号 平成14年3月15日発行  
発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課  
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
TEL：03-5285-1111  
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

http://www.mhlw.go.jp/

<厚生労働省>

http://www.forth.go.jp/

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。